日本アンテナ

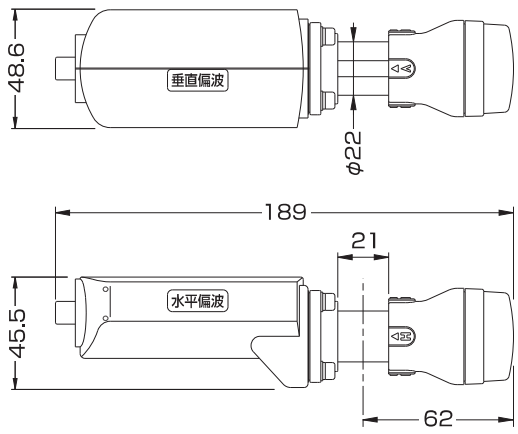
取扱説明書

小型フィードホーン
CSアンテナ用コンバーターユニット

Model	局部発振周波数
FC-ASJ4	11.3GHz

このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書とアンテナの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上の注意」をお読みください。

単位：mm



ご使用になる前に

●本器はBS・110°CSデジタル放送は受信できません。

標準性能表

型名	FC-ASJ4	備考
受信周波数範囲 [GHz]	12.25～12.75	
中間周波数 [MHz]	950～1450	
雑音指数 [dB]	0.8以下	
総合利得 [dB]	48～60	
受信帯域利得偏差 [dB]	5p-p以内	各周波数帯域内
受信ch内利得偏差 [dB]	1p-p以内	受信ch帯域内（27MHz）
入力VSWR	2.5以下	
出力VSWR	2.5以下	
局部発振周波数 [GHz]	11.3	
局発周波数漂動 [MHz]	±1.5	−30～+50℃
局発漏洩 [dBm]	−55以下	入力端子
位相雑音 [dBc/Hz]	−55以下 −70以下 −80以下	1KHz OFFSET 5KHz OFFSET 10KHz OFFSET
イメージ妨害抑圧比 [dB]	31以上	
相互変調妨害比 [dB]	58以上	−75dBm 2波
使用温度範囲 [℃]	−30～+50	本体周囲温度
保存湿度範囲 [%RH]	20～95	
電源電圧 [V]	+DC15（+9.5～+16.5）	
消費電力 [W]	2.4以下（DC+15V入力時）	
入力構造	WRI-120	
出力構造	F型端子	C15形
質量 [kg]	0.3	

お客様へ アンテナの取付けや設置工事は、強度上の安全性確保のため、必ず専門の技術者または、専門業者にご依頼ください。

5116382

安全上の注意

絵表示について　この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

		絵表示の例	
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。		△記号は注意（注意・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。		⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
			●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

⚠ 警告

接触禁止　**雷が鳴りだしたら接続ケーブルや機器には触れない。**
●感電の原因になります。

禁止　**悪条件で作業しない。**　＊天候の悪い日　＊暗いとき　＊足場の不安定な場所
●けがや落下事故、機器故障の原因になります。

指示　**梱包袋・シートは子供の手の届かないところに置く。**
●あやまって頭からかぶると窒息し、死亡の原因になります。

指示　**作業時は落下対策をおこなう。**
●機器や工具はひもで結ぶ、ネットを張るなどして落下防止をおこなってください。おこなわないと、けがや落下事故、機器故障の原因となります。

⚠ 注意

禁止　**表示した電源以外で使用しない。**
●故障・事故の原因となります。

接触禁止　**同軸ケーブルの芯線に触らない。**
●指を刺してけがをしたり、ショートさせて機器故障の原因になることがあります。

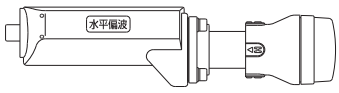
分解禁止　**分解したり、改造したりしない。**
●けがや機器故障の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店・工事業者にご依頼ください。

使用上の注意

●接栓は使用する同軸ケーブルに適したC15形の防水接栓をご使用ください。それ以外の接栓を使用すると故障の原因になります。

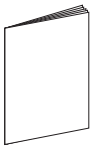
構成部品

下記の部品で構成されています。開封時に欠落部品がないかをご確認ください。

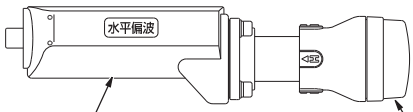


コンバーターユニット

防水キャップ×1

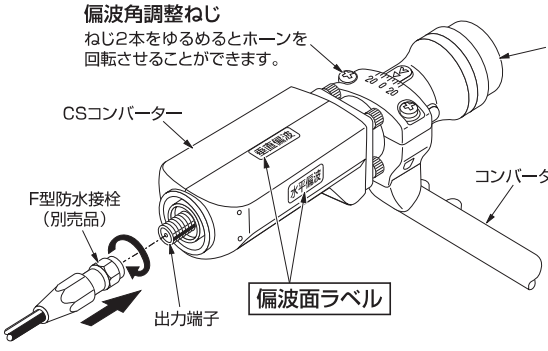

取扱説明書×1

各部の名称



CSコンバーター　フィードホーン

CSコンバーターとケーブルの接続方法



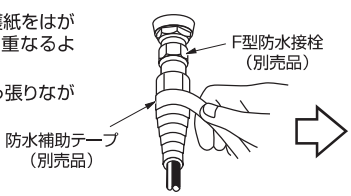
●F型接栓の締付トルク

2.0N・m（20kgf・cm）

出力端子へ指定のトルクで締め付けます。

●出力端子に接続した接栓は次の要領でテーピングしてください。

①防水補助テープの保護紙をはがし、テープ幅の半分が重なるように巻き付けます。
②防水補助テープを引っ張りながら巻き付けます。

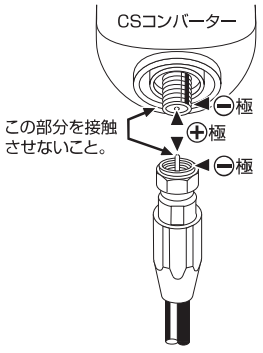


③粘着ビニールテープ（市販品）を巻き付けます。
④指で押えて密着を促進させて完了です。

ポイント　●締め付けが弱いと防水性が劣り、逆に強すぎると接栓部が破損してしまうことがあります。

ポイント

ケーブルをアンテナに着脱する際には、CSコンバーターへのアンテナ電源は必ず〔オフ〕にしてください。電源が〔オン〕の状態でショートさせますと、CSチューナーからCSコンバーターへの電流は、安全装置により自動的に停止したり、再設定する必要があります。



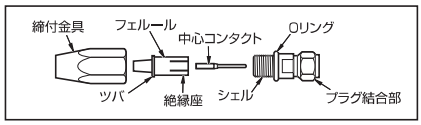
※中心コンタクト（⊕極）をCSコンバーター出力端子外側の⊖極に接触させるとショートします。

F型防水接栓（別売品）の取付方法

同軸ケーブル（S-7C-FB）加工例

◆用意するもの　カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ、圧着工具、スパナ（12mm）

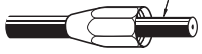
■各部の名称　（単位：mm）



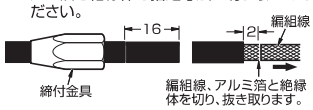
●絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないよう注意し、芯線と編組線が接触していないかご確認ください。

●芯線に付着物が付いていないか確認し、付着物がある場合には、きれいにとってください。

① あらかじめ締付金具をケーブルに通しておきます。

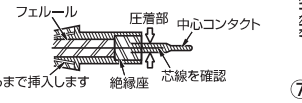


② 外被をナイフなどで取り除き、編組線、アルミ箔と絶縁体を指定寸法に切り取ってください。

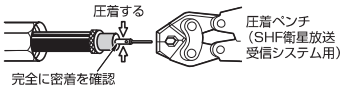


③ 編組線をめくりあげます。

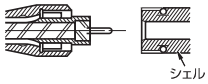
④ フェルールを編組線とアルミ箔の間にさし込み、次に中心コンタクトを芯線に取付けます。できるだけ絶縁座に近づけて端子を圧着してください。



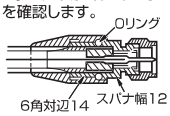
⑤ 圧着ペンチで芯線と中心コンタクトを固定します。



⑥ モンキーレンチまたはスパナでシェルを締め付けます。



⑦ Oリングがかくれていることを確認します。



⚠注意　加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬケガの原因となります。

●シェルの締付トルク

4.9N・m（50kgf・cm）

●主な都市の方位角、仰角、偏波角

受信地	Superbird-B3号（東経162度）			JCSAT-2B号（東経154度）			Superbird-C2号（東経144度）			JCSAT-3A号（東経128度）			JCSAT-4B号（東経124度）		
	方位角（度）	仰角（度）	偏波角（度）	方位角（度）	仰角（度）	偏波角（度）	方位角（度）	仰角（度）	偏波角（度）	方位角（度）	仰角（度）	偏波角（度）	方位角（度）	仰角（度）	偏波角（度）
札幌	151.2	36.1	10.4	161.9	38.7	16.1	176.2	40.2	9.2	199.2	38.5	13.9	204.7	37.3	17.7
旭川	152.8	35.8	11.7	163.5	38.2	17.3	177.7	39.5	10.3	200.4	37.5	14.5	205.7	36.2	18.2
稚内	152.5	34.0	12.1	163.0	36.3	17.3	176.8	37.7	9.7	198.9	36.0	13.1	204.2	34.9	16.7
根室	156.8	37.4	14.3	167.8	39.4	20.4	182.3	40.1	13.7	204.8	37.0	17.8	210.0	35.5	21.3
帯広	153.4	37.0	11.9	164.3	39.3	17.8	178.8	40.5	11.1	201.8	38.2	15.8	207.1	36.8	19.5
函館	149.7	37.1	8.9	160.5	39.9	14.8	175.1	41.6	8.3	198.7	40.0	13.8	204.3	38.8	17.8
青森	149.2	38.0	8.2	160.1	40.9	14.3	175.0	42.7	8.2	199.0	41.1	14.3	204.7	39.8	18.4
盛岡	149.2	39.3	7.8	160.4	42.2	14.2	175.6	44.0	8.6	200.2	42.1	15.4	205.9	40.8	19.6
仙台	148.1	40.5	6.5	159.4	43.6	13.2	175.0	45.5	8.1	200.3	43.6	15.8	206.1	42.3	20.2
秋田	147.8	38.8	6.8	158.8	41.9	13.1	173.9	43.9	7.3	198.6	42.4	14.2	204.3	41.2	18.5
山形	147.3	40.2	5.9	158.5	43.4	12.5	174.0	45.5	7.3	199.4	43.8	15.1	205.3	42.5	19.6
福島	147.2	40.8	5.7	158.6	44.0	12.4	174.3	46.1	7.5	199.9	44.3	15.6	205.8	42.9	20.1
水戸	146.4	42.1	4.6	158.0	45.4	11.6	174.1	47.6	7.3	200.5	45.8	16.4	206.5	44.3	21.1
宇都宮	145.7	41.6	4.1	157.1	45.0	11.0	173.1	47.3	6.5	199.5	45.7	15.5	205.6	44.4	20.2
前橋	144.5	41.4	3.2	155.8	44.9	10.0	171.8	47.5	5.4	198.3	46.2	14.6	204.5	44.9	19.5
さいたま	144.9	42.1	3.2	156.3	45.6	10.2	172.5	48.1	6.0	199.3	46.6	15.5	205.5	45.2	20.4
千葉	145.3	42.6	3.5	157.0	46.1	10.6	173.3	48.5	6.6	200.2	46.7	16.3	206.4	45.3	21.2
東京	144.9	42.3	2.8	156.4	45.9	10.2	172.7	48.3	6.0	199.6	46.8	15.8	205.7	45.3	20.6
横浜	144.5	42.5	2.8	156.1	46.2	9.9	172.4	48.7	5.8	199.5	47.1	15.8	205.8	45.7	20.7
新潟	145.3	39.9	4.3	156.4	43.4	10.8	171.9	45.8	5.6	197.6	44.6	13.8	203.6	43.4	18.4
富山	142.3	40.1	1.6	153.2	43.9	8.0	168.7	46.9	3.0	195.2	46.4	12.1	201.4	45.2	17.0
金沢	141.6	39.9	1.1	152.4	43.8	7.4	167.9	46.9	2.3	194.4	46.6	11.5	200.7	45.5	16.5
福井	140.6	40.0	0.2	151.4	44.1	6.4	166.9	47.3	1.5	193.8	47.2	11.1	200.2	46.2	16.2
甲府	143.4	41.7	2.1	154.7	45.5	8.9	170.8	48.2	4.5	197.8	47.1	14.4	204.1	45.8	19.3
長野	143.5	40.7	2.5	154.6	44.4	9.1	170.3	47.1	4.3	196.8	46.2	13.4	203.0	45.0	18.3
岐阜	140.9	41.0	0.1	151.9	45.0	6.6	167.7	48.2	2.0	195.0	47.9	12.1	201.4	46.7	17.3
静岡	142.7	42.2	1.2	154.0	46.1	8.2	170.3	48.9	4.1	197.8	47.9	14.5	204.1	46.6	19.6
名古屋	140.9	41.2	0.0	151.9	45.3	6.6	167.8	48.5	2.1	195.2	48.1	12.4	201.7	46.9	17.6
津	140.0	41.4	−0.9	151.0	45.6	5.7	167.0	48.9	1.3	194.7	48.7	12.0	201.3	47.5	17.4
大津	139.5	40.8	−1.1	150.3	45.0	5.3	166.1	48.5	0.6	193.6	48.5	11.1	200.2	47.4	16.4
京都	139.3	40.7	−1.2	150.2	45.0	5.2	165.9	48.4	0.5	193.4	48.5	11.0	200.0	47.5	16.3
大阪	138.8	40.8	−1.8	149.5	45.1	4.6	165.3	48.7	0.0	193.0	48.9	10.7	199.7	47.9	16.1
神戸	138.4	40.6	−2.1	149.1	45.0	4.2	164.8	48.6	−0.5	192.5	49.0	10.3	199.2	48.0	15.7
奈良	139.1	41.0	−1.5	150.0	45.3	4.9	165.8	48.8	0.4	193.5	48.9	11.1	200.2	47.8	16.5
和歌山	138.0	41.1	−2.6	148.8	45.5	3.8	164.6	49.2	−0.7	192.7	49.5	10.4	199.4	48.5	16.0
鳥取	137.7	39.4	−2.2	148.2	43.7	3.8	163.4	47.5	−1.4	190.6	48.3	8.6	197.2	47.4	13.9
松江	136.3	38.6	−3.2	146.5	43.2	2.5	161.5	47.2	−3.0	188.6	48.5	7.0	195.3	47.7	12.4
岡山	136.8	39.8	−3.2	147.2	44.4	2.8	162.6	48.3	−2.2	190.3	49.2	8.4	197.1	48.3	13.9
広島	134.9	39.2	−4.7	145.1	43.9	1.0	160.2	48.2	−4.2	187.9	49.8	6.5	194.8	49.0	12.2
山口	133.6	38.7	−5.8	143.6	43.6	−0.2	158.5	48.1	−5.7	186.2	50.1	5.1	193.2	49.5	10.9
徳島	137.2	40.8	−3.2	147.8	45.3	3.1	163.5	49.1	−1.6	191.7	49.8	9.6	198.5	48.8	15.2
高松	136.6	40.2	−3.5	147.1	44.8	2.6	162.6	48.7	−2.3	190.6	49.6	8.7	197.4	48.7	14.3
松山	134.8	39.9	−5.1	145.1	44.6	0.8	160.4	48.9	−4.2	188.6	50.4	7.1	195.6	49.6	12.9
高知	135.5	40.5	−4.7	145.9	45.2	1.4	161.5	49.4	−3.3	189.9	50.5	8.2	196.8	49.6	14.0
福岡	131.9	38.4	−7.3	141.7	43.5	−1.9	156.4	48.3	−7.5	184.3	50.9	3.6	191.5	50.4	9.5
佐賀	131.6	38.5	−7.7	141.3	43.7	−2.3	156.0	48.6	−7.8	184.2	51.2	3.5	191.4	50.7	9.5
長崎	130.8	38.6	−8.5	140.4	43.9	−3.2	155.1	48.9	−8.7	183.5	51.8	2.9	190.8	51.3	9.1
熊本	131.7	39.2	−7.9	141.5	44.3	−2.4	156.4	49.2	−7.6	185.0	51.8	4.2	192.2	51.2	10.3
大分	133.0	39.5	−6.7	143.0	44.5	−1.0	158.1	49.2	−6.2	186.6	51.2	5.5	193.7	50.5	11.4
宮崎	131.8	40.3	−8.3	141.7	45.5	−2.5	157.1	50.4	−7.3	186.4	52.7	5.4	193.8	52.0	11.7
鹿児島	130.6	40.0	−9.3	140.4	45.3	−3.7	155.5	50.4	−8.6	185.0	53.1	4.2	192.5	52.5	10.6
那覇	122.9	41.3	−17.9	131.7	47.7	−12.8	146.5	54.4	−17.7	179.3	59.4	−0.6	188.3	59.1	7.5
石垣島	117.9	39.4	−22.6	125.7	46.3	−18.6	138.8	53.9	−24.9	170.8	61.3	−8.4	180.5	61.6	0.4

2．保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
②お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
③火災、爆発事故、突風、豪雨、落雷、地震、噴火、水害、津波など天変地異または戦争、暴動など破壊行為による故障および損傷。
④工業地域、海岸付近、温泉地などの地域における公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）など腐食性の空気環境に起因する故障および損傷。
⑤カラス、ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する故障および損傷。
⑥異常電圧、電気の供給トラブルなどに起因する故障および損傷。
⑦用途以外で使用した場合の故障および損傷。
⑧塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
⑨消耗部品の消耗に起因する故障および損傷。
⑩日本国以外で使用された場合の故障および損傷。
⑪本書のご提示がない場合。
⑫本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

3．ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合は、お客様窓口にご連絡ください。

4．本書は日本国内においてのみ有効です。
（This Warranty is valid only in Japan）

5．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

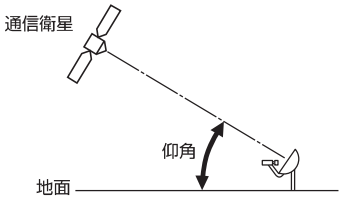
修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様窓口にお問い合わせください。

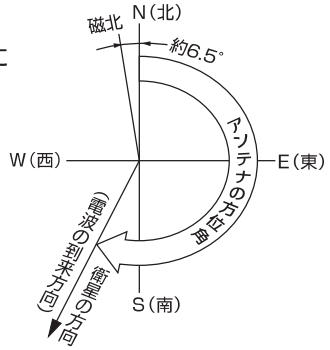
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についてはお客様窓口にお問い合わせください。

仰角と方位角および偏波角

●仰角について
（受信点から衛星を見上げた角度）



●方位角について
（真北から東まわりに測った衛星の角度）



●方位磁石で方位角を求める場合

①まず、磁針で北を求めます。
②求めた磁北は、西偏角により西に約6.5度ずれています。
③方位角に西偏角（約6.5度）を加えた補正値が、磁北からの衛星の方向になります。

安全にお使いいただくために

設置の際に、締め付けた全てのボルト、ナットは定期的に取付状態の確認をしてください。
そのために全てのボルト、ナットの締付後は確認用マーキングをおこなってください。
定期点検の際にはマーキングのずれを確認してください。

メンテナンス

●いつまでも美しい映像をお楽しみいただくために、1年に1回は専門業者に受信状態、ねじ、ボルト、ナットのゆるみ、ケーブルの接続などの保守・点検をご依頼ください。

●設置後、ボルトのゆるみなどがありますので、定期的な増し締めや取付状態の点検をおこなってください。

うまく映らない時は

このようなとき	対　策　例
テレビで確認したら画像も音声も出ない	●アンテナの向きがズレていないか、ご確認ください。 ●同軸ケーブルが正しく接続されているか、ご確認ください。 ●テレビやレコーダー、チューナー、受信機などアンテナ電源が「オン」（「入」または「連動」）など電源供給になっているか、ご確認ください。（ブースターから電源送電している場合を除く。）（確認方法は、お手持ちのテレビやレコーダー、チューナー、受信機などの説明書をご覧ください。）
テレビ画像にノイズが現れる	●アンテナの向きがズレていないか、ご確認ください。（雨、雷雲、積雪などによる電波の減衰も考えられます。強風時のアンテナの揺れによる場合もあります。） ●同軸ケーブルの劣化も考えられますのでご確認ください。

上表に従って調べていただき、直らないときは、お買上げの販売店にご相談ください。

お客様窓口　**0570-091039**　ご利用時間 9:00～12:00 13:00～17:30（土・日祝祭日・弊社休業日を除く）

ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243

日本アンテナ株式会社
本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8
（ホームページアドレス）https://www.nippon-antenna.co.jp/

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

5116382　2020年7月

（キリトリ線）

保　証　書

型　名	FC-ASJ4
お客様	お名前
	ご住所 電話番号　（　　）
お買上げ日 年　月　日	取扱販売店名・住所・電話番号
保証期間（お買上げ日より） 本体1年 （但し消耗品は除く）	

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。なお、お客様窓口は弊社ホームページをご覧ください。

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
①無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買い上げの販売店にお申し付けください。
②修理対象品を直接弊社お客様窓口まで送付された場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理をおこなった場合、出張料はお客様負担とさせていただきます。